会社に左右されない仕事術　2020 / ３ / 14日（https://tonarinoatsuo.com）

- 第1章　会社は自由を勝ち取るためのツール
  - 国を変えるのは現場で働くサラリーマン
  - 会社は従業員のもの
  - 会社の利益のことなど何一つ考える必要なし。自分の利益だけを考えていればいい
    - 会社の利益とは？ 第一に信用
    - 選択肢の多さこそが自由。大きなお金には大きな自由がついてくる
  - 必要なのは小難しい理屈ではなく、感情であり、背中を押してくれるきっかけだ。
    - 嫉妬とは向上心の裏返し
  - 目標とは戦略が立てられるものであるか否かが問題
    - 世界一を目指す前に、日本一を目指す前に、自分の見える範囲で目標を定める。
      - 町で一番を目指す
- 第2章　あなたが知らない仕事の真実
  - できないことを認める
    - 仕事とは自分の労働を現金化すること
      - 時間と労力を効率よく現金化することがビジネスの本質
      - 自分にできないことは何か
  - 人は意外なほどにできないことをに時間と労力を費やしている。
    - 懲りもせずに月に向かって石を投げている
  - 業績が悪くなった時にダメな経営者は特別なことをやろうとする
    - 普通と思われることを確実にやっていくだけで普通以上の成果を上げて大きな成功を手にすることができる
      - 電話コール５回以内でに出る
      - 効率化とは、基本を踏まえた上で無駄を省くこと。基本そのものをおろそかにする事ではない
  - 仕事ができる人は、人間関係を円滑に運べる人
    - 話が上手い人はたとえ話が上手い
      - みんなが知っている対象に置き換える
      - 話にストーリー性を持たせる事
    - 人は仕事に感情を求める。
      - 目標に向けての一体感
  - 仕事とは、社会に対して何かを与える行為
    - 人から与えられた仕事は作業にすぎない
  - 仕事やお金や感動を与える側に回った時、人は初めて大人になる
- 第3章　日本企業の底力は制度にある
  - 人事異動に込められた２つの意味
    - ❶種の配合
      - 定期的に新しい血を入れる事で、組織全体が活性化し、より強固なものになる。
        - 異動で種の配合を繰り返し、新しい品種、価値を生み出す
    - ❷人材育成
      - 知らないことは大きな武器
        - 知っていると思うと努力をやめる
          - 自分を成長させよう
- 第４章　あなたの会社は大丈夫?
  - 人は命令ではなく、ハートで動く
  - 物事を考えるときは、自分に都合の悪い情報を探せ
- 第５章　不況の時代こそ起業のチャンス
  - 成功の反対は失敗ではない。それは挑戦しないこと
  - 起業は不景気にするもの
    - 国の制度を上手に利用する
      - 助成金には返済の義務なし
      - 積極的に助成する業種を見ると、今の日本がどのような問題を抱え、どのような業種に力をいれていこうとするのが透けて見える
  - 人が育たない理由は、社長がみんなに仕事を任せないから
    - 起業する理由は他者の力を借りるため
  - 経営者は駅伝監督タイプになるべし
    - 自分より能力が劣る社員に仕事を任せる
  - 起業とは特殊能力
    - 大きな組織だと、自分の手ではコントロールできない
      - 「こうしている間にも地球に住む25億人もの男達のひげが少しずつ伸びている。その姿を考えながらベッドに入ると安心して眠れる。ジレットの株主に不眠症はないはずだ」バフェット
      - 他人に左右されることがない職業とは何か?
        - 努力か才能が足りない?
- 第６章　他人に左右されない人生を揃み取れ
  - 人生に競争などない
  - 毎年一人ずつダチを増やせ
    - 人間の作る組織は、１５０人までは団結できるが、それ以上になったら途端にバラバラになってしまう
      - 集団のメンバーを相互理解できるギリギリの数が１５０人
    - 第三者に友達を作る
  - どうすれば人は化けるのか?
    - 大きな失敗をすること
      - 本気になったら人は変わる。成長を超えて化けることができる

XMind:ZEN | トライアルモード